



台風被害からの復旧をHPで公開

昨年の台風により大きな被害を受けた十勝地方。平穏を取り戻したかのように見えますが、まだ通行止めになっている道路があり、河川敷にはたくさんの流木が残されています。

帯広開発建設部では、被災直後の応急対策から本復旧への取組を進め、復旧に全力を尽くしています。

その進捗状況について、ホームページで公開していますので、ご紹介します。

河川 堤防決壊箇所復旧工事



↑画像をクリックすると
HPへ移動します

台風による大雨で、十勝川及び札内川では計画水位を超えるなど、12箇所を観測史上最も高い水位を記録する大きな出水になりました。

堤防の決壊が発生した札内川、音更川の被災箇所においては、早期の堤防復旧を目的として、工事の進捗状況をお知らせしています。



戸高別川と札内川の合流点
(平成28年8月31日)



同現場における盛土工の様子
(平成29年5月31日)

HPでは、「札内川左岸大正橋下流地先災害復旧工事」のほか2工事について、被災直後の状況から応急復旧、現在の様子の写真を掲載することで工事の進捗具合がわかる構成となっています。

工事の進捗状況は今後もHPでお伝えしていく予定です。

日勝峠の復旧状況



↑画像をクリックすると
HPへ移動します

道路 日勝峠の復旧状況

帯広開発建設部及び室蘭開発建設部では、昨年8月の台風による被災のため通行止めとなっていた国道274号日勝峠の復旧について、今年秋頃の開通を目指して工事を進めています。

峠頂上の雪解けが進み、工事の最盛期を迎えることから復旧工事の進捗状況を、

各開発建設部のHPでお伝えする「日勝峠の復旧状況」を6月27日に開設しました。

日勝峠は台風により6箇所の被災がありました。現在通行止め区間である日高町千栄〜清水町清水3.6kmの間うち、帯広側3箇所、室蘭側7箇所の計10箇所の復旧工事の進捗状況を



被災状況全景(帯広側日勝峠7合目)



被災直後の様子(帯広側日勝峠7合目)



盛土工を実施中
(帯広側日勝峠7合目 6月14日)

を公開しています。HPでは、被災直後から、現在の様子を写真で対比しており、工事の進捗状況を確認することができま。

今後とも当該ページにおいて月2回程度を目処に更新を予定しています。



災害対策用機械 操作訓練

池田排水機場 6/29 実施

帯広開発建設部では、災害が発生したときに使用する災害対策用機械を迅速かつ的確に運用できるよう、災害対策用機械等の出動に関する協定を締結している会社とともに操作訓練を定期的に行っています。

6月29日に池田排水機場において今年度の訓練を行うに当たり、市町村職員及び帯広建設業協会会員会社を対象に見学会を開催しました。

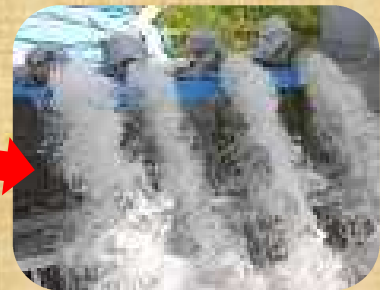


池田排水機場での訓練の様子(左は十勝川資料館)

ポンプ車による排水作業



ポンプ車は25mプールの水を6分で排水することができます。
訓練では池田排水機場の向かいにあるため池から堤防を越え、池田樋門に排水しました。



照明車のポール動作確認

夜間の災害現場における作業員の安全確保や、被災現場の監視を行う際の照明として使用します。
搭載している照明装置は約400m先でも新聞を読めるほどの能力があります。



土のう造成機の操作



1. 土のう造成機全景
2. 袋をセットして、足下のパッドを踏むと袋に土が入ります。
3. 土は造成機の上にセットされています。
4. 作成された土のう。
1時間で360袋を作成可能です。

「十勝川魚つきの森」植樹祭

十勝川魚つきの森推進協議会は、森・川・海とつながった地域環境を整備し、より豊かな緑資源を後世に引き継ぐことを目的とし、漁業者から林業者まで、幅広い人々が協力する中で、地域環境を考えようという横断的な組織です。

地元の人たちが主体となって、守り育てていく森づくりをバックアップする北海道の「北の魚つきの森」事業は平成14年にスタートし、豊頃町は平成17年に道内12番目の認定を受け、毎年流域の植樹とごみ拾いなど環境整備活動を行っています。

5月20日に植樹祭が開催され、帯広開発建設部からは築港対策官を窓口として、中島治水課長、小原池田河川事務所長ほか職員が参加しました。



植樹祭は豊頃町二宮の民有有林で行われました。豊頃町役場からは他の参加者と一緒に、バスで会場に向かいました。9時10分から開会式が行われ、十勝川つきの森協議会長、豊頃町長のあいさつののち、植樹が開始しました。当日の天候は、隣の池田町で最高気温31.4度を記録する真夏日となりました。豊頃町でも作業開始時点ですでに真夏の日差しでした。開会式では進行役の方から熱中症にならないよう水分の補給と無理のない作業をするよう説明を受けました。

植樹祭には十勝総合振興局、豊頃町役場の職員、大津漁業協同組合を始めとする団体、大津小学校、豊頃小学校の児童など約120人が参加し、カラマツの苗1000本を植樹しました。作業箇所は小さい山の斜面となっており、下から見るとたいしたことにはなさそうでしたが、日頃の運動不足と厳しい暑さのため、汗をぬぐいながらの作業となりました。

30分程度の作業で用意された苗木はすべて植えられ、代表者による記念標柱の建立をもって解散となりました。

帯広開発建設部では、これからも十勝の山、川、海を守り次世代に引き継いでいく取組に地元の方々とともに尽力していきます。



出前講座を開催しています

帯広開発建設部では、様々なインフラの整備をはじめ、みなさんの日々の生活の根幹的な部分を支える取組をしています。そうした私たちの取組をよりわかりやすくお伝えする場として「出前講座」を行っています。

5月19日には帯広信用金庫・三島信用金庫取引先BCP協力会の方々を対象に、高部防災対策官を講師として昨年の台風被害について、自治体への支援を中心に講座を行いました（講座名「帯広開発建設部の防災対策の取組について」）。

また6月19日には豊頃町豊寿大学の学生を対象に、河合上席治水専門官を講師として、過去の豊頃町での洪水被害や昨年の台風時の状況を交えながら防災意識の重要性を啓発する講座を行いました（講座名「河川の洪水被害や整備について」）。

出前講座のメニュー、申込方法はHPに掲載していますので、ぜひご覧下さい。

[<HPはこちらをクリックしてください>](#)



平成29年度地域づくり連携会議開催

「地域づくり連携会議」は、国の「北海道総合開発計画」及び北海道の「北海道総合計画」を踏まえ、地域づくりの方向のほか、地域が直面する課題の解決や地域活性化の施策等について、国、北海道、市町村、民間有識者が適切な役割分担の下、連携・協働を一層推進していくことを目的に、毎年度開催しています。

6月5日にホテル日航ノースランド帯広において、今年度の十勝地域づくり連携会議が開催され、十勝管内市町村長、帯広開発建設部長、十勝総合振興局長、有識者の出席のもと、十勝連携地域「地域づくり推進ビジョン」等の議題について意見が交わされました。



河道掘削土、農地へ 今年度の運搬始まる

～昨年を超える25万m³の提供を予定～

帯広開発建設部では、十勝川の洪水氾濫を未然に防ぐ対策として河道掘削を実施しています。

昨年の台風の影響により表土流出等の被害があった十勝川流域の農地に対する災害復旧支援として、十勝川の河道掘削土の提供を行い、昨年度はおよそ17万m³の土砂を運搬しました。

今年度も、帯広市、清水町、芽室町、十勝総合振興局、関係するJA、帯広開発建設部などを構成員とする「平成28年度大雨災害に係る

農地の災害復旧工事と河川工事との十勝地方連絡調整会議」において調整の整った芽室町の農地への運搬を、6月9日に開始しました。

その他の地域の農地についても調整が整い次第、運搬を実施し、9月下旬頃までに約25万m³（ダンプトラック約4万6千台分）の提供を予定しています。

帯広開発建設部は、今後も引き続き被災農地の復旧を支援してまいります。



十勝川改修工事の内新川下流河道掘削工事で発生した河道掘削土を芽室町に搬入する様子
(6月15日)